

中学校の生徒数は増加、小学校、高等学校、幼稚園は減少

— 大学等進学率は66.1%、前年度に次ぐ高い数値で、12年連続全国第1位 —

はじめに

学校基本調査（統計法に基づく基幹統計調査）は、学校数、学級数、児童・生徒・園児数、教員数及び卒業後の状況など学校に関する基本的事項を調査し、学校教育行政上の基礎資料を得ることを目的に、文部科学省が都道府県を通じて、昭和23年から毎年5月1日現在の状況を調査しています。

平成23年度の調査結果から府内の高等教育機関（大学、大学院、短期大学及び高等専門学校）を除く各学校の概要についてお知らせします。

1 学 校 調 査

小 学 校

小学校数は、公立校の新設4校・私立校1校・廃校14校により432校（国立2校、公立420校、私立10校）で、前年度より9校減となっています。

児童数は、昭和56年度の25万1997人をピークに減少傾向で推移し、平成14年度に13万9396人まで減少した後は対前年度比で1%未満の幅で増減し、23年度は過去最低の13万7409人（男子7万77人、女子6万7332人）となり、前年度より2173人、1.6%の減少となっています。（表1）

22年度間の長期欠席者（30日以上欠席者）数は1015人で、21年度間より58人、5.4%減少しています。このうち不登校を理由とする長期欠席者数は391人（前年度間423人）となっています。（表2）

表1 小学校の児童数等の推移

年度	区分	学校数	児童数	本務教員数	教員1人当たり児童数
		校	人	人	人
昭和30年度		454	246,607	6,874	35.9
35		445	226,306	6,794	33.3
40		430	164,448	6,010	27.4
45		440	177,977	6,725	26.5
50		468	209,144	8,115	25.8
55		487	249,547	9,550	26.1
60		497	231,663	9,320	24.9
平成2年度		500	186,275	8,772	21.2
7		473	162,663	8,305	19.6
19		447	141,636	8,652	16.4
20		445	141,953	8,714	16.3
21		445	140,729	8,723	16.1
22		441	139,582	8,751	16.0
23		432	137,409	8,753	15.7

表2 小学校の理由別長期欠席者数 (単位:人)

	計	病 気	経済的理由	不登校	その他
30日以上欠席者数					
平成21年度間	1,073	295	—	423	355
22年度間	1,015	279	—	391	345

注 不登校とは何らかの心理的、情緒的、身体的、あるいは社会的要因・背景（「病気」や「経済的な理由」による場合を除く）による長期欠席をいいます。

中 学 校

中学校数は、公立校の新設3校・廃校4校により203校（国立2校、公立175校、私立26校）で、前年度より1校減となっています。

生徒数は、昭和61年度の12万8079人をピークに減少傾向にあり、平成18年度で過去最低の7万132人となり、23年度は7万2557人（男子3万6571人、女子3万5986人）で、前年度より1179人、1.7%の増加となっています。

（表3）

22年度間の長期欠席者（30日以上欠席者）数は2536人で、21年度間より213人、7.7%減少しています。このうち不登校を理由とする長期欠席者数は1858人で21年度間より154人、7.7%減少しています。

（表4）

表3 中学校の生徒数等の推移

年度	区分	学校数	生徒数	本務教員数	教員1人当たり 生徒数
昭和30年度	校	177	121,131	4,012	30.2
35	人	172	116,817	4,039	28.9
40		166	100,435	4,409	22.8
45		166	79,220	3,923	20.2
50		177	87,760	4,397	20.0
55		190	101,790	4,987	20.4
60		200	125,378	5,893	21.3
平成2年度		209	110,213	5,886	18.7
7		206	89,474	5,303	16.9
19		204	71,163	5,084	14.0
20		204	70,859	5,130	13.8
21		204	72,024	5,224	13.8
22		204	71,378	5,267	13.6
23		203	72,557	5,367	13.5

表4 中学校の理由別長期欠席者数（単位：人）

	計	病 気	経済的理由	不登校	その他
30日以上欠席者数					
平成21年度間	2,749	334	-	2,012	403
22年度間	2,536	302	-	1,858	376

注 表2の注に同じ

高 等 学 校

高等学校数は105校（国立1校、公立63校、私立41校）で前年度と同数となっています。

生徒数は、平成元年度の12万4262人をピークに減少し、23年度は7万1092人（男子3万5412人、女子3万5680人）で、前年度より316人、0.4%減少しています。（表5）

本科の生徒数は7万969人で、課程別にみると全日制6万9294人、定時制1675人となっています。専攻科の生徒数は123人です。

また、学科別生徒数（専攻科を除く）は、普通科5万8683人（構成比82.7%）、工業科2209人（同3.1%）、総合学科2048人（同2.9%）、商業科1398人（同2.0%）、農業科1095人（同1.5%）、水産科290人（同0.4%）、情報科214人（同0.3%）、看護科182人（同0.3%）、福祉科124人（同0.2%）、家庭科96人

（同0.1%）、その他の専門教育（理数関係、音楽・美術関係など）4630人（同6.5%）とな

っています。

表5 高等学校の生徒数等の推移

年度	区分		生徒数	本務教員数	教員1人当たり 生徒数
	学校数	うち府立			
昭和30年度	校	校	人	人	人
35	87	48	62,630	2,800	22.4
40	88	45	78,682	3,287	23.9
45	93	47	118,426	4,642	25.5
50	90	45	83,509	4,290	19.5
55	92	47	85,088	4,629	18.4
60	99	53	94,025	5,127	18.3
平成2年度	103	55	107,512	5,614	19.2
7	104	55	124,020	6,131	20.2
19	105	55	100,168	5,899	17.0
20	106	55	71,436	5,271	13.6
21	106	55	70,789	5,245	13.5
22	105	54	70,272	5,199	13.5
23	105	54	71,408	5,210	13.7
23	105	54	71,092	5,184	13.7

特別支援学校

特別支援学校数は、前年度より1校新設・1校廃校により、増減なしの24校（国立1校、公立23校）となっています。在学者数は2472人（前年度在学者数2394人）です。（表6）

表6 特別支援学校の在学者数等の推移

年度	区分	学校数	在学者数	本務教員数	教員1人当たり 在学者数
		校	人	人	人
昭和35年度		5	659	128	5.1
40		5	680	150	4.5
45		8	959	254	3.8
50		11	1,383	433	3.2
55		18	2,104	822	2.6
60		21	2,485	1,039	2.4
平成2年度		22	2,479	1,126	2.2
7		22	2,239	1,268	1.8
19		23	2,159	1,619	1.3
20		23	2,215	1,606	1.4
21		23	2,283	1,663	1.4
22		24	2,394	1,709	1.4
23		24	2,472	1,756	1.4

注 平成19年4月1日から盲・聾・養護学校が特別支援学校に一本化されました。平成18年度以前の数値は、盲・聾・養護学校の合計値です。

幼稚園

幼稚園数は、公立1園の廃園により、前年度より1園減少し228園（国立1園、公立66園、私立161園）となっています。

園児数は、昭和53年度の5万5822人をピークとして減少傾向のなか、23年度は3万99人（男子1万5160人、女子1万4939人）で、前年度より278人減少し、7年連続減少しました。

入園者数は1万234人となっており、入園年齢は3歳児入園8447人（構成比82.5%）、4歳児入園1472人（同14.4%）、5歳児入園315人（同3.1%）となっています。

修了者数は1万793人で、前年度より298人減少し、就園率も49.5%と、前年度に比べ0.3ポイント減少しています。（表7）

また、編制方式については、1年教育を行っている園は6園（構成比2.7%）、2年教育を行っている園は25園（同11.4%）、3年教育を行っている園は188園（同85.8%）となっています（休園中9園を除く）。

表7 幼稚園の園児数等の推移

年度	区分	園数	園児数	本務教員数	教員1人当たり 園児数	就園率
		園	人	人	人	%
昭和30年度		158	21,634	835	25.9	36.1
35		183	20,184	826	24.4	47.5
40		186	28,457	1,082	26.3	57.1
45		217	41,312	1,553	26.6	64.6
50		242	53,060	1,976	26.9	68.1
55		272	51,950	2,188	23.7	65.1
60		279	39,706	1,984	20.0	60.5
平成2年度		266	38,134	2,017	18.9	59.0
7		253	33,350	1,951	17.1	57.1
19		233	32,507	2,170	15.0	51.9
20		230	31,776	2,165	14.7	50.4
21		231	30,933	2,201	14.1	50.3
22		229	30,377	2,222	13.7	49.8
23		228	30,099	2,216	13.6	49.5

注 就園率 = $\frac{\text{幼稚園修了者数}}{\text{(本年度) 小学校1年生の総数}} \times 100$

専修学校・各種学校

専修学校数は、増減なしの65校（公立4校、私立61校）となっています。

生徒数は、1万4882人（男子7501人、女子7381人）で、前年度より608人、4.3%増加しています。

分野別では、医療関係4659人（構成比31.3%）、工業関係が3514人（同23.6%）、文化・教養関係2676人（同18.0%）の順となっており、3年連続して同様となっています。なお、医療関係の中では看護2443人、工業関係の中では情報処理1075人、文化・教養関係の中では受験・補習1110人が最も多くなっています。

各種学校数は、私立1校の廃止があり、56校（私立56校）で、前年度より1校減少しています。

生徒数は5158人（男子2283人、女子2875人）で、前年度より85人、1.6%減少しています。

分野別では、文化・教養関係2656人（構成比51.5%）、その他2345人（同45.5%）の順となっています。なお、その他の内訳をみると、予備校895人（構成比17.4%）、自動車操縦857人（同16.6%）、外国人学校530人（同10.3%）の順となっています。（表8）

表8 専修学校・各種学校の生徒数等の推移

年度	区分	専修学校		各種学校	
		学校数	生徒数	学校数	生徒数
		校	人	校	人
昭和30年度		・	・	237	32,248
35		・	・	202	38,686
40		・	・	183	46,384
45		・	・	183	41,632
50		・	・	174	35,889
55		52	10,146	125	26,935
60		63	17,385	107	17,221
平成2年度		70	19,866	96	15,860
7		64	17,822	75	12,913
19		66	15,986	59	5,914
20		64	15,027	60	5,696
21		64	13,643	59	5,657
22		65	14,274	57	5,243
23		65	14,882	56	5,158

注 専修学校は、昭和51年度から設置されました。

2 卒業後の状況調査

中学校

平成23年3月の卒業生数は2万3421人（男子1万1799人、女子1万1622人）で、前年より984人、4.0%減少しています。

高等学校等進学率（就職進学者を含む）は99.0%（2万3177人）、就職率（就職進（入）学者を含む）は0.2%（42人）となっています。（表9）

表9 進路別卒業生数(中学校)

(単位:人、%)

区分	卒業生数 (A~G)	高等学校	専修学校	専修学校	公共職業	就職者	左記以外	死亡・	A,B,C,Dの	高等学校	専修学校	専修学校	就職率
		等進学者 A	(高等課程) 進学者 B	(一般課程) 等入学者 C	能力開発 施設等入 学者 D					等進学者 A/(A~G)	(高等課程) 進学率 B/(A~G)	(一般課程) 等入学率 C/(A~G)	
平成19年3月	23,356	22,939	20	17	2	132	244	2	5	98.2	0.1	0.1	0.6
20	23,637	23,227	15	21	1	137	231	5	1	98.3	0.1	0.1	0.6
21	23,186	22,822	26	12	2	99	225	-	5	98.4	0.1	0.1	0.4
22	24,405	24,043	30	24	1	92	212	3	5	98.5	0.1	0.1	0.4
23	23,421	23,177	25	9	1	42	167	-	-	99.0	0.1	0.0	0.2

注 高等学校等進学者とは、高等学校(通信制課程を含む)及び高等専門学校等への進学者(就職進学者を含む)をいい、専修学校(一般課程)等入学者とは、専修学校(一般課程)及び各種学校への入学者をいいます。

高等学校

平成23年3月の卒業生数は、2万2529人（男子1万1070人、女子1万1459人）で、前年より320人、1.4%増加しています。

大学・短期大学等進学率（就職進学者を含む）は66.1%（1万4898人）となっています。また専修学校（専門課程）への進学率（就職進学者を含む）は13.1%（2957人）、就職率（就職進（入）学者を含む）は8.2%（1840人）となっています。（表10）

また、本年3月卒業生のうち、大学・短期大学への入学志願者数は1万6624人となり、全体の73.8%が志願しています。

産業別の就職者数は、製造業661人（構成比35.9%）、卸売業・小売業221人（同12.0%）、宿泊業・飲食サービス業199人（同10.8%）、医療・福祉139人（同7.6%）、建設業110人（同6.0%）、運輸業・郵便業110人（同6.0%）、公務103人（同5.6%）、サービス業（他に分類されないもの）62人（同3.4%）などとなっています。

(注：日本標準産業分類が平成19年11月に改定)

就職者総数のうち、府外へ就職した者は343人（構成比18.6%）となっており、大阪府177人（府外への就職者中の構成比51.6%）、兵庫県61人（同17.8%）、滋賀県30人（同8.7%）、東京都23人（同6.7%）、奈良県10人（同2.9%）、愛知県7人（同2.0%）などとなっています。

表10 進路別卒業生数(高等学校)

(単位:人、%)

区分	卒業生数 (A~H)	大学等	専修学校	専修学校	公共職業	就職者	一時的な	左記以外	死亡・	A,B,C,Dの	大学等	専修学校	専修学校	就職率
		進学者 A	(専門課程) 進学者 B	(一般課程) 等入学者 C	能力開発 施設等入 学者 D						進学者 A/(A~H)	(専門課程) 進学率 B/(A~H)	(一般課程) 等入学率 C/(A~H)	
平成19年3月	24,197	15,233	3,377	1,482	112	2,353	432	1,208	-	6	63.0	14.0	6.1	9.7
20	22,901	14,786	2,965	1,393	123	2,256	318	1,060	-	5	64.6	12.9	6.1	9.9
21	22,446	14,775	2,681	1,383	87	2,192	319	1,008	1	6	65.8	11.9	6.2	9.8
22	22,209	14,869	2,640	1,279	101	1,875	294	1,140	11	10	67.0	11.9	5.8	8.5
23	22,529	14,898	2,957	1,218	94	1,830	328	1,204	-	10	66.1	13.1	5.4	8.2

注1 大学等進学者とは、大学・短期大学(通信教育部を含む)及び高等学校専攻科等への進学者(就職進学者を含む)をいい、専修学校(一般課程)等入学者とは、専修学校(一般課程)及び各種学校への入学者をいいます。

2 「一時的な仕事に就いた者」とは、臨時的な収入を目的とする仕事に就いた者(例 アルバイト、パート等)をいい、平成16年度調査より追加されました。

特別支援学校

平成23年3月の中学部卒業生数は、180人となっています。そのうち全員の180人（100%）が進学しており、大部分が各学校の高等部へ進学しています。

平成23年3月の高等部卒業生数は328人となっています。大学等進学者数は、6人（進学率1.8%）となっています。

また就職者数は、80人（就職率24.4%）となっています。

3 学校通信教育調査（高等学校）

通信課程をもつ学校は、併置校5校（公立2校、私立3校）、協力校4校となっています。

生徒数は1597人（男子782人、女子815人）で、前年度より36人増加しています。年齢別にみると、15～19歳は1138人、20～29歳は336人、30～39歳は69人、40～49歳は36人、50～59歳は3人、60歳以上は15人となっています。

平成22年度間の卒業生数は218人となっており、進路別にみると、大学等進学者31人（構成比14.2%）、専修学校（専門課程）進学者39人（同17.9%）、就職者（就職進（入）学者を含む）22人（同10.1%）、上記以外の者126人（同57.8%）となっています。